

日本トップレベルの
オーケストラ読響の秋田公演

読響
YOMIKYO
Yrs.
1962-2022

SNSやYouTubeでも大人気！

チケット完売が相次ぎ

注目を浴びるピアニスト

ピアノ 角野隼斗

躍動するリズムと迫力の響き！
自然と涙を誘う“家路”のメロディ

華麗なる《新世界》

読売日本交響楽団

松本宗利音 × 角野隼斗
Shurihito Matsumoto Hayato Sumino

創立60周年記念秋田特別演奏会

人気のかていんと新時代のシューリヒトが初共演！

モーツァルト： 歌劇「フィガロの結婚」序曲

ガーシュイン： ピアノ協奏曲 へ調

ドヴォルザーク： 交響曲第9番「新世界から」

2023年3月26日①17時30分開演
あきた芸術劇場ミルハス 大ホール

Sunday, 26th March, 17:30 / Akita Arts Theatre Mille Has Main Hall

テレビでも放映されて

話題を集める新鋭

次世代を担う若きマエストロ

指揮 松本宗利音
しゅうりひと

席種・料金

S ¥5,000

A ¥4,500

学生 ¥2,000

(25歳以下・要学生証／電話のみで受付)

全席指定・税込 ※学生席は読響チケットセンターのみ取り扱い ※車いす席はあきた芸術劇場のみ取り扱い

好評発売中！

申し込み

読響チケットセンター 0570-00-4390
(10時～18時・年末年始を除く) <http://yomikyo.pia.jp/>

あきた芸術劇場ミルハス WEBまたは窓口
(9時～17時・年末年始を除く) <https://akiat.jp/>

瑞々しい感性！ 新鋭シュリーヒトが振る「新世界」 人気ピアニストの角野隼斗がガーシュインの協奏曲で共演！

日本屈指のオーケストラ、読売日本交響楽団が秋田に登場！創立60周年を迎えた読響が新劇場ミルハスで極上のサウンドをお届けします。指揮台に上がるのは、国内の主要楽団に次々とデビューを飾り、メキメキと頭角を現す松本宗利音。ドヴォルザークの有名な「新世界」を指揮し、豊潤な響きを読響から引き出します。さらに、“かていん”名義のYouTubeで話題沸騰のピアニスト角野隼斗がガーシュインのピアノ協奏曲で共演します。

メインとなるドヴォルザークの傑作交響曲「新世界から」は、クラシック音楽史に燦然と輝く名曲中の名曲。遠いアメリカから故郷ボヘミアへの想いを込めたドヴォルザークの旋律は、時代と国を越えて私たちの心に迫り、有名な“家路”のメロディは自然と涙を誘います。松本の切れ味鋭いタクトは、熱いリズムと力強いサウンドを引き出し、終楽章では壮麗な金管楽器が鳴り響く感動のクライマックスを築き上げるでしょう。“新時代のシュリーヒト”が生み出す「新世界」に期待が高まります。

前半のガーシュインのピアノ協奏曲では、人気爆発中のピアニスト角野隼斗が登場します。クラシカルな形式に基づきながら、ジャズの要素が盛り込まれた、明るくリズムカルな協奏曲。ジャンルを超えて活躍する角野にとってぴったりの一曲と言えるでしょう。角野の類まれな感性と抜群のテクニックが炸裂します。新時代を築くマエストロとピアニスト、ふたりの情熱あふれる共演をどうぞお見逃しなく！

2023年3月26日(土) 17時30分開演

あきた芸術劇場ミルハス | 秋田県秋田市千秋明徳町2-52 (JR秋田駅から徒歩約10分)

全席指定・税込

S ¥5,000 **A** ¥4,500

学生 ¥2,000 (25歳以下・要学生証／電話のみで受付)

※学生券は読響チケットセンターのみ取り扱い

※車いす席はあきた芸術劇場のみ取り扱い

席
種
・
料
金

申し
込
み
・
お
問
い
合
わ
せ

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時～18時・年末年始を除く) <http://yomikyo.pia.jp/>

あきた芸術劇場ミルハスWEBまたは窓口

(9時～17時・年末年始を除く) <https://akiat.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団、ABS秋田放送

共催：あきた芸術劇場ミルハス

読響60周年東北公演オフィシャル・スポンサー：大成建設株式会社

- 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。
- ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。
- マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。



松本宗利音 / 指揮 Shurihito Matsumoto, conductor

音楽界の未来を担う期待の新星として注目を浴びる若手マエストロ。1993年大阪府生まれ。東京芸術大学指揮科を最優秀賞であるアカンサス賞を受賞して卒業。指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和に、ヴァイオリンを澤和樹、曽我部千恵子に師事。芸大在学中にダグラス・ボストック、バーヴォ・ヤルヴィのマスタークラスを受講。東京シティ・フィルの指揮研究員を経て、19年から22年まで札幌響指揮者として活躍した。これまでに読響はじめ東響、新日本フィル、大阪響、大阪フィルなど国内主要楽団に客演し、確かな構成力と生命力あふれる音楽で頭角を現している。名前の「宗利音(しゅうりひと)」は、20世紀の世界的指揮者カール・シュリーヒトの夫人から直接名付けられた。



角野隼斗 / ピアノ Hayato Sumino, piano

ジャンルを超えた活動で異彩を放つ新時代のピアニスト。1995年生まれ。東京大学在学中、ベティナ特級グランプリ受賞をきっかけに本格的に音楽活動を開始。21年ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでに読響、ポーランド国立響、ハンブルク響などと共演。18年に渡仏し、音響音楽研究所(IRCAM)で音楽情報処理を研究するほか、J=M. ルイサダに師事。20年東京大学大学院を修了後、国内外でコンサート活動を行う傍ら“Cateen(かていん)”名義で自ら作編曲および演奏した動画をYouTubeで配信し、人気を博している。「情熱大陸」「題名のない音楽会」などテレビ出演多数。スタインウェイアーティスト。読響とは22年10月に小林研一郎指揮で盛岡・石巻・いわき各地で共演し絶賛された。



読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。2019年4月よりセバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者を務め、充実した活動を展開している。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、サントリーホールや東京芸術劇場などで演奏会を開催している。17年11月にはメシアン「アッジの聖フランチェスコ」(全曲日本初演)が絶賛され、「音楽の友」誌の「コンサート・ベストテン」第1位、サントリー音楽賞などを受賞。